

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】平成24年4月19日(2012.4.19)

【公表番号】特表2011-514901(P2011-514901A)  
 【公表日】平成23年5月12日(2011.5.12)  
 【年通号数】公開・登録公報2011-019  
 【出願番号】特願2010-549663(P2010-549663)  
 【国際特許分類】

A 6 1 K 35/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/16 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/28 (2006.01)  
 A 6 1 P 21/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/14 (2006.01)  
 A 6 1 P 3/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 13/12 (2006.01)  
 A 6 1 P 19/08 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/16 (2006.01)  
 A 6 1 P 25/02 (2006.01)  
 A 6 1 P 1/00 (2006.01)  
 C 1 2 N 5/0775 (2010.01)

## 【 F I 】

A 6 1 K 35/12  
 A 6 1 P 25/16  
 A 6 1 P 25/28  
 A 6 1 P 21/00  
 A 6 1 P 25/14  
 A 6 1 P 3/00  
 A 6 1 P 13/12  
 A 6 1 P 19/08  
 A 6 1 P 25/00  
 A 6 1 P 1/16  
 A 6 1 P 25/02  
 A 6 1 P 1/00  
 C 1 2 N 5/00 2 0 2 H

## 【 手続補正書 】

【提出日】平成24年3月5日(2012.3.5)

## 【 手続補正 1 】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

## 【 補正の内容 】

【特許請求の範囲】

## 【 請求項 1 】

外因性間葉系幹細胞を完全に宿主組織に再定植(repopulating)させるための医薬組成物であって：

宿主組織の内因性間葉系幹細胞集団を減少させるのに有効な量で、再定植宿主組織を提供するための単離外因性間葉系幹細胞を含み、

ここで、前記医薬組成物を投与された再定植宿主組織において、実質的にすべての間葉系幹細胞が外因性間葉系幹細胞である。

【請求項 2】

前記医薬組成物を投与された再定植宿主組織が内因性間葉系幹細胞を実質的に含まない、請求項 1 の医薬組成物。

【請求項 3】

前記医薬組成物を投与された再定植組織において、100%の間葉系幹細胞が外因性間葉系幹細胞である、請求項 1 または 2 の医薬組成物。

【請求項 4】

宿主組織が骨髄である、請求項 1 ~ 3 のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 5】

内因性間葉系幹細胞集団が、骨髄間葉系幹細胞集団である、請求項 1 ~ 4 のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 6】

外因性間葉系幹細胞が同種のものである、請求項 1 ~ 5 のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 7】

外因性間葉系幹細胞が、宿主に対して H L A マッチである、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 8】

外因性間葉系幹細胞が、宿主に対して部分的に H L A ミスマッチである、請求項 1 ~ 6 のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 9】

宿主が I 型糖尿病である、請求項 1 ~ 8 のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 10】

外因性造血幹細胞をさらに含む、請求項 1 ~ 9 のいずれか一項記載の医薬組成物。

【請求項 11】

造血幹細胞が同種のものである、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 12】

造血幹細胞が H L A マッチである、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 13】

造血幹細胞が部分的に H L A ミスマッチである、請求項 11 に記載の医薬組成物。

【請求項 14】

造血幹細胞が自己のものである、請求項 10 に記載の医薬組成物。

【請求項 15】

外因性間葉系幹細胞が、C F T R 遺伝子、A T P 7 B 遺伝子、S O D 1 遺伝子、タンパク質・ジストロフィンをコードする遺伝子、タンパク質・グルコセレブロシダーゼをコードする遺伝子、A S Y N 遺伝子、H D 遺伝子、タンパク質 P M P 2 2 をコードする遺伝子、P K D 1 遺伝子、P X R I 遺伝子、A R E 遺伝子、F B N 1 遺伝子、W R N 遺伝子、A L D 遺伝子、C L C N 7 遺伝子、O S T M 1 遺伝子、T C I R G 1 遺伝子、S C A 1 遺伝子、S M A 遺伝子、および S G L T 1 遺伝子からなる群より選択される遺伝子を含有するように、遺伝子修飾されている、請求項 1 の医薬組成物。